

令和7年度 第2回  
北多摩西部健康危機管理対策協議会  
健康危機管理（感染症）訓練等部会 会議録

1 開催日時

令和8年3月12日（木曜日） 午後1時30分から2時41分

2 会場

東京都多摩立川保健所 講堂

3 会議次第

(1) 議事

ア 令和7年度感染症対応実践型訓練について

(ア) 感染症対応実践型訓練実施状況のまとめについて（案）

(イ) 感染症対応実践型訓練の課題と今後の方向性について（案）

イ 健康危機対処計画の改定（案）について

ウ 令和8年度感染症対応実践型訓練について（案）

エ 健康危機管理（感染症）訓練等部会等の予定について

(2) その他

4 委員名簿

12名（令和8年3月12日現在）

（敬称略）

国家公務員共済組合連合会 立川病院 感染制御部室長	竹内美枝
独立行政法人 国立病院機構災害医療センター 副看護師長	塩野彩
社会医療法人社団健生会 立川相互病院 感染管理認定看護師	楨野順子
社会医療法人財団大和会 東大和病院 感染管理室副室長	山本真吾
一般社団法人立川市医師会 小児保健担当理事	平野静香
立川市保健医療部健康推進課長	佐藤良博
昭島市保健福祉部健康課長	原田千尋
国分寺市健康部健康推進課長	占部英一
国立市健康福祉部保健センター担当課長	加藤尚子
東大和市健幸福祉部健康推進課長	幸村有紀
武蔵村山市健康福祉部健康推進課長	高橋一磨
東京都多摩立川保健所長	中坪直樹

## 5 欠席委員

佐藤委員、占部委員

<北多摩西部健康危機管理対策協議会委員>

※「北多摩西部健康危機管理対策協議会部会運営要領 第6の2」により招集

医療法人社団潮友会 うしお病院 森川五竜院長

## 6 代理出席者

昭島市保健福祉部健康課 村井感染症対策担当係長（原田委員代理）

国立市健康福祉部保健センター 矢吹主査（加藤委員代理）

令和7年度 第2回北多摩西部健康危機管理対策協議会

健康危機管理（感染症）訓練等部会

令和8年3月12日

開会：午後1時30分

【吉井市町村連携課長】 それでは、お待たせいたしました。

定刻になりましたので、ただいまから令和7年度第2回北多摩西部健康危機管理対策協議会健康危機管理（感染症）訓練等部会を開会いたします。

皆様には、年度末のお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

私は、多摩立川保健所市町村連携課長の吉井でございます。議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、最初に本日の資料の確認をさせていただきます。本日の会議資料は、事前にメールでもお送りいたしております。資料は会議次第の裏面にも記載がございます。

まず、本日の会議次第が一番上にございまして、資料1-1が「令和7年度多摩立川保健所感染症対応実践型訓練実施状況報告」になっております。

それから、資料1-2がこの訓練のアンケートの結果になっております。

それから資料2として、この訓練における課題と今後の方向性ということで、A3の横の資料が1枚。

そして、次に資料3-1健康危機対処計画の改定案。

3-2がその新旧対照表（案）ということになっております。

それから、資料4が令和8年度の感染症対応実践型訓練についての案。

資料5が令和8年度の健康危機管理対策スケジュール表ということになっております。

その後ろに、参考資料1、この会の親会である健康危機管理対策協議会の設置要綱。

参考資料2が本部会の運営要領。

そして参考資料3が、この訓練部会の委員の名簿ということになっております。

最後にご意見シートということでおつけしております。

もし、資料の不足等がありましたら、恐れ入りますが事務局までお申しつけください。

それから、本日の部会は、原則公開での開催となっております。会議の議事録、それから配付資料などについては、後日ホームページで公表させていただく予定でございます。

それでは、開会に当たりまして、本部会の部会長であります多摩立川保健所長の中坪よりご挨拶を申し上げます。

【中坪部会長】 皆さん、こんにちは。

ただいま、ご紹介をいただきました、多摩立川保健所長の中坪でございます。

委員の皆様方におかれましては、年度末のご多忙なところ、この会議に出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、日頃より保健所の事業にご理解、ご協力いた

だき重ねて御礼申し上げます。

この部会は、健康危機管理対策協議会の専門部会の一つとして、主に感染症対応実践型訓練について検討していただくほか、健康危機対処計画の改定などについてご意見をいただく場としておりまして、今年度2回目の開催としているところでございます。

昨年11月には医師会、薬剤師会、各種の健康福祉部門の方々、医療機関など多くの参加者のご協力の下、感染症対応実践型訓練を実施することができました。訓練当日には、委員の皆様方にも多数ご参加いただいたところですが、一部の委員の方には各班のファシリテーターとして主体的に訓練に関わっていただき、多大なご協力をいただきました。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

本日は、この訓練について改めて検証するとともに、次回、また来年度以降の訓練につきましても、委員の皆様方から専門的見地から、あるいは市の立場から忌憚のないご意見をいただきまして、今後の新興感染症対策につなげていければと考えているところです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【吉井市町村連携課長】      ありがとうございます。

続きまして、本日の委員の出欠についてご報告をいたします。

委員名簿は、参考資料の3ということで、下のほうになりますけれども配付しております。

本日は、立川市健康推進課長の佐藤委員、国分寺市健康推進課長の占部委員がご欠席ということでございます。

それから、昭島市原田委員の代理で村井様がお出席ということと、国立市加藤委員の代理で矢吹様がお出席いただいております。

それから、東大和市健康推進課長の幸村委員と武蔵村山市健康推進課長高橋委員がWEBでの参加ということになっております。

本日は、訓練の際に医師会班のファシリテーターとしてご参加いただきました、うしお病院の森川先生にもご出席いただく予定でしたが、所用によりご欠席ということになりましたのでご報告をいたします。

それでは、続きまして、多摩立川保健所の幹部職員のご紹介をさせていただきます。

まず、稲葉副所長でございます。

【稲葉副所長】      よろしくお願ひいたします。

【吉井市町村連携課長】      鎌田生活環境安全課長でございます。

【鎌田生活環境安全課長】      よろしくお願ひいたします。

【吉井市町村連携課長】      土方保健対策課長でございます。

【土方保健対策課長】      よろしくお願ひいたします。

【吉井市町村連携課長】      岡田地域保健推進担当課長でございます。

【岡田地域保健推進担当課長】      よろしくお願ひいたします。

【吉井市町村連携課長】 それから中澤歯科保健担当課長代理は、今日は欠席ということになっております。

それでは、今後の議事の進行については、部会長の中坪多摩立川保健所長にお願いしたいと思います。中坪所長お願いいたします。

【中坪部会長】 改めまして、本部会長として進行役を務めさせていただきます、中坪でございます。よろしくお願いいたします。

では早速、次第に入りたいと思います。

次第3の議事に入ります。（1）令和7年度感染症対応実践型訓練について、ア、感染症対応実践型訓練実施状況のまとめについて、事務局より説明をお願いいたします。

【吉井市町村連携課長】 それでは、資料の1-1です。

令和7年度のこの新興感染症実践型訓練の実施報告をまとめたものとなっております。A4横の冊子となっております。こちらをご覧ください。

こちらは、昨年11月に行われました感染症対応実践型訓練の実施内容についてまとめたものとなっております。訓練の記録動画を収録しておりますので、そちらのほうも後ほどご視聴いただきたいと思います。

では、1枚おめくりください。

まず、訓練の概要でございます。上段に訓練の目的、それから下段に概要をまとめております。昨年11月27日に新興感染症の発生を想定した実践型訓練を行いました。42名の方にご参加をいただきました。

それでは1枚おめくりください。

こちらは、訓練のポイントと当日の流れということになっておりまして、ポイントとしては、関係機関との円滑な情報連絡、それから各機関の状況判断と迅速な対応、新興感染症発生時の対応業務ということで、これらについて実践的な訓練を行うということで実施いたしました。

次のページは訓練のシナリオということになっております。

この次のページをご覧ください。

2のシナリオです。管内で1日80人以上の感染者が発生するという、流行初期を想定した訓練といたしました。感染症はウイルスXということで致死率3%程度、感染ルートは接触飛沫感染で非常に感染力の強いウイルスを想定したものであるということで実施をいたしました。

それでは、1枚おめくりください。

この訓練では、まず課題検討ということで、前半は6つの班に分かれてご覧のような課題について検討していただき、後半は情報連絡訓練で、3人の患者が発生して、それに対して対応するという形で実施をいたしました。

続いて、8ページ、右下に小さく08と書いてあるページになります。

これは、情報連絡訓練の進行状況を整理したものということになっております。今回

の主な対応のポイントとしては、発熱外来で発生届を行って、患者の1人は自宅療養になって、生活支援を行うという話と、それから、また家族で発生し、その内の1人がPCRセンターで検査を行い、陽性になるというストーリーで行っております。

それから入院調整ということで、いろいろなテーマで訓練を行っております。

各班のファシリテーターの方に非常に的確に指示をしていただいて、アドリブで行った部分もありましたが、ほとんど混乱することなく進めることができました。

それでは、1ページおめくりください。

ここから、最後の振り返りで様々なご意見をいただいて、その意見をまとめたものになっております。非常に多くの意見が出されまして、全部紹介することはできないので、ごく一部をご紹介します。

まず、病院班のところで、これは11ページになります。

2枚目のところで、(3)情報連携の遅れということで、電子化が進んでいるにもかかわらず、電話・FAX中心で業務が逼迫しているということをご指摘いただいて、今後の対応策として、一番下の情報連携の高度化のところ、電子システムによる状況共有を標準化するべきというご意見をいただいております。

それから、次のページが医師会班からのご意見ということで、2の課題(1)PCRセンターの設置場所を確保するというを課題として挙げておりまして、その次のページの、今後の方向性(1)で、PCRセンターの設置場所について、設置候補地を事前にリスト化しておくべきではないか、こういったご意見をいただいております。

それから、1枚おめくりください。14ページになります。

次に外来診療班ということで、課題としては(1)医師が不在のときの対応を挙げておりまして、連絡、それから対応フローの整備、自宅療養者の医療の仕組みが必要ではないかということでございました。

これに対して、次のページの方向性(1)で、医師不在時の対応フロー、それから運用ルールを策定しておくといったこと。それから自宅療養者に対するオンライン診療、代替医師の派遣の仕組みを検討すべきと、こういったご意見が出されております。

それから、1枚おめくりください。

市役所班です。(3)人材育成と知見継承で、新人職員がコロナの対応を経験しておらず、過去の知見の共有が不足しているということ課題として挙げておりまして、これに対して、次のページ(3)で、コロナ対応の経験を体系化して、マニュアル、あるいは事例集として共有する。あるいは新人職員向けの研修プログラムを整備し、過去の知見を継承していくことが必要ではないかというご意見がございました。

それから、1枚おめくりください。

最後、保健所班ということで、保健所は今回、感染症対策班と市町村連携班の二つに分かれて訓練を行いました。

まず、感染症対策班のほうですが、課題(3)に記載がございまして個人情報の共有

の方法について適切なルールを策定する必要があるといった課題を示しまして、次のページの今後の方向性として、個人情報共有の方法について適切なルールと運用ガイドラインを策定すべき、こういったご意見が出ております。

それから、最後、1ページおめくりいただいて、市町村連携班です。

課題の1で、情報の取り扱い、共有方法について、各市で異なる対応状況、体制を集約する仕組みが必要という意見がありました。次のページの今後の方向性として、各市の対応状況を集約、共有するための仕組み、プラットフォームや定期報告の体制の構築が必要なのではないかといった意見が出ております。

ご紹介したのはほんの一部ですが、それぞれの班から他にも多くの貴重なご意見をいただいております。

私どもとしては、こういう形で整理をしておりますが、今後、対策に活用できるようにしてまいりたいと思っております。

では、今回の訓練について記録用として訓練の様子を動画で収録しております。委員の皆様にもご視聴いただきたいと思っております。大体6、7分ぐらいで編集したダイジェスト版になっておりますが、訓練の様子などがあると思っておりますので、どうぞご視聴ください。

(動画上映)

【吉井市町村連携課長】 ありがとうございます。

一部音声聞き取りづらいところがありました。大変失礼しました。

今ご視聴いただいた動画はダイジェスト版ですが、お配りしている資料の最後のページにこの動画のQRコードを載せておまして、ここから動画を視聴することもできます。ロング版の動画は25分程度のかかなり長めの動画になっており、詳しくはこの動画で視聴いただけたらと思います。こちらは関係機関や市などの限定公開としておりますので、こちらのQRコードからご覧いただけたらと思います。

続いて、アンケートの結果についてご報告させていただきます。

資料1-2になります。

今回の訓練について終了後にアンケートを実施しまして、参加者の皆様から率直なご意見をいただきました。この報告がそのご意見をまとめたものです。

1枚おめくりください。

まず、アンケートの項目ですが、この訓練の全体について、実施方法それから内容について適切だったかどうか、今回は流行初期という想定で訓練を行いました、訓練のフェーズとして適切だったのかということ。

それから、訓練全体の長さは2時間ということで行いましたが、これがちょうどよかったかどうか、そういったことをお聞きしています。

それから、第1部の課題検討、第2部の情報連絡訓練それぞれのパートにおいて、もう少し具体的にお聞きするというところで実施しております。

書いていただいた方は 30 名ぐらいということで、訓練の参加者が 42 名でしたので、大体 7 割以上の方にアンケートにお答えいただいたということでございます。

では、アンケートの結果について、順次、触れていきたいと思えます。

まず 1 ページおめぐりください。03 になります。

訓練の実施方法、内容について効果的だったかということですが、こちらは 87% が効果的だった、13% がどちらでもない、効果的でなかったという回答はゼロということでした。

それぞれの立場や役割が見えて分かりやすかった。あるいは、自分の立場以外の動きが本番では見えないため、とても参考になったなどの意見がございました。

それでは、1 枚おめぐりください。

こちらは、訓練の想定時期は「流行初期」ということで行いましたが、このフェーズについては 71% の方から適切、どちらでもないが 29%、不適切はゼロということでございます。

より課題が明確になった時期であったということで適切だったのではないかということ。また、今回、いきなり流行初期になった想定での訓練でしたので、準備期からの動き、シナリオがあると、なおよいと思ったなどの意見もございました。

それから、次のページをご覧ください。5 ページになります。

こちらは、今回の訓練の時間について、2 時間で実施しましたが、これについて適切と回答した方が 74%、やや長いと回答された方が 7% で、一方で、やや短い、あるいは短いという方が 20% ということでした。若干意見が分かれるところではありましたが、時間についてはおおむね適切だったと考えております。

それから、右側の円グラフになりますが、11 月 27 日の 13 時半から 15 時半の 2 時間で実施したことについては、適切だったという方が 68%、不適切という回答も 10% 程度あり、理由として、市議会の時期や、医師会の先生にとっては、午後の早い時間だと出席しづらいというご意見もありました。

それでは、ページをおめぐりいただいて、6 ページ、7 ページが訓練全体についての感想、ご意見をまとめたものとなっております。個人名は出さずに、班名を記載しております。

ここでは、時間の都合上、詳しいご紹介は割愛させていただきますが、訓練自体は多くの方から評価していただいております。また、さらにこうすればもっとよかったですといった提案も多くいただいております。

それから、1 ページおめぐりいただいて 8 ページ目になります。

こちらは、第 1 部の課題検討についてのアンケートということで、各班に様々な課題を付与して検討していただきましたが、この課題については適切だったという回答が 86%、どちらでもないという回答が 14% ということでございます。

次のページで、所属した班で十分な検討ができましたかというご質問ですが、できた

という方が 36%、だいたいできたが 43%ということですので、合わせて8割の方が、ある程度検討ができたという回答でした。一方であまりできなかったという回答も18%程度ありまして、この理由が次の質問の回答になります。10 ページです。

時間が 15 分ということで、これが適切だったと回答した方が 45%に対して、やや短いが 41%で、短いと回答された方が 14%という結果でしたので、検討時間が設定として 15 分というのは少し短かったと考えているところです。

課題検討の実施方法、あるいは進め方についてはおおむね適切ということでございます。

次に 11 ページです。

こちらは、第2部の情報連絡訓練についてのアンケートの結果になります。各所属した班で適切な対応ができたかというご質問ですが、できたが 25%、だいたいできたが 64%で、こちらは合わせて9割近くということでございました。今回の訓練は事務局、あるいはファシリテーターの方以外にシナリオを渡しておりませんでしたので、参加者は台本のない中で、おおむねしっかり対応されていたのではないかと考えております。

では、1枚おめくりいただいて、情報連絡訓練は40分で行いましたが、これについて、適切と答えた方が69%、長い、やや長いという回答が合わせて24%、逆に7%が若干短い、やや短いということで、ここも少し意見が分かれたところでもあります。今回の情報連絡訓練はかなり盛りだくさんの内容で実施しましたので、それぞれの感想になったのではないかと考えております。内容については、精査してもいいのではないかと考えております。

最後に、次回の訓練に向けてのご要望、ご提案ということでまとめたものとなっております。一つずつ紹介することは時間の都合上難しいので、後ほど、課題と今後の方向性というところで触れたいと思います。非常に前向きで参考になる意見も多数ございましたので、今後、こうしたご意見を訓練に生かしていければと思っております。

以上、長くなりましたが、令和7年度の訓練の報告ということでございました。

**【中坪部会長】** 説明、ありがとうございます。

ここまでの議事、ア、感染症対応実践型訓練実施状況のまとめについて、ご質問やご意見などはございますでしょうか。

なければ、今日はこの訓練に参加していただいた先生方もいらっしゃいますので、まず最初に外来診療班のファシリテーターをしていただきました平野委員に、何か感想で結構ですので、ありましたらお願いいたします。

**【平野委員】** 平野でございます。

当日は、非常に熱気のあるところで、私も非常に勉強になりました。

アンケートにも感想は書かせていただきましたが、昨年同様、お互いの動きが見えてよかったのではないかと考えています。ただ、やはり今の時代仕方がないかと思いま

すが、連絡手段が電話であると、言い方が適切ではないかもしれませんが、このようにもたつくだということがよく分かりました。

多数、意見が挙がっていますが、ICTの活用やオンラインで一気に情報が入る仕組み、あとは個人情報の一括同意など、考えていただかなくてはいけないことが多くあるのではないかと思います。

以上でございます。

【中坪部会長】 ありがとうございます。

次に、病院班でファシリテーターをしていただきました山本委員、お願いいたします。

【山本委員】 東大和病院の山本です。

課題1の中では、参加した先生方から過去の経験を振り返って苦労したことや、診療科間での偏りがあって負担が病院の中でもかかっているということの振返りなどを共有させていただいたところでした。

課題2に関しても、スムーズに運営はでき、意見にもあったとおり、病院班は少し手持ち無沙汰なところが確かにありました。1件の受入れであれば経験者が集まっていますので簡単に対応できますが、複数の受入れ事案が重なったときや、直来が来ているときにも対応をしていけるようになる、もしくは、人員の入れ替わりももちろんあり、経験がない職員も出てくると思うので、そういうところへの対応もできたらいいと思います。混乱してもいいのではないかという意見があったかもしれませんが、確かにそう思います。先ほどのYouTube動画のようにきれいに形になるのはもちろんいいのですが、実際にある程度対応できる方々が集まっている状況であれば、管理する側は難しいとは思いますが、混乱ありき、アドリブありきで進めても、それもそれで面白いのではないかと思います。ありがとうございました。

【中坪部会長】 ありがとうございます。

市で参加された方も何名かいらっしゃいますので、まず、こちらの会場にいらっしゃいます昭島市の村井係長、もし感想等ありましたらお願いいたします。

【村井感染症対策担当係長】 恐れ入ります。昭島市の村井です。よろしく申し上げます。

アンケートの中でも、私も答えさせていただいたのですが、第1部の課題検討で、各市によって対応の進め方や、そもそもどこに目をつけて動くかというところが大分違っていたように思います。そのため、15分という時間については、私は短かったと考えております。

2部の情報連携については、実際にそうだったという印象ではありますが、市に情報はなかなか入ってこず、入ってきたときにはもう動いてくれという状況だったので、もちろん保健所の中で対応されていた部分もよく見えましたが、もう少し早い段階から、市に情報が入ってきて一緒に動けるような状況を、次のときに作っていけると、

より混乱はしないのではないか、当時は、既にかなり混乱をしていたので、その辺りが今後の検討になるのではないかと、個人的には思っております。

以上です。

【中坪部会長】 ありがとうございます。

WEBで参加の武蔵村山市の高橋委員、急で申し訳ありませんが、コメント、感想等がありましたらお願いいたします。

【高橋委員】 武蔵村山市の高橋です。よろしくお願いします。

感想といいましても、私は訓練自体に参加したことがそれほどないので的確かどうかは分かりませんが、本市において、防災を巻き込んでの訓練等の開催のシミュレーション的な部分で、今回実施した訓練について参考になる部分が大変多くございました。一般市民の方も巻き込んで、どのように実施していくか等色々な意味で訓練を見ながら、想像をしながら参加させていただきました。

今後とも、訓練に参加して、市においてもそれをフィードバックして、開催してまいりたいと考えております。

以上です。

【中坪部会長】 ありがとうございます。

同じく、WEBで申し訳ありませんが、東大和市の幸村委員も感想で結構ですので、お願いいたします。

【幸村委員】 東大和市の幸村です。

私は、昨年度もこちらの訓練に参加しましたが、他の保健所や東京都、病院がどのような動きをしているのか全然状況が分からないというところが、今回の訓練で少し時間の動き方といいますか、これだけ時間がかかるというところを実際に見ることができたので、そこが自分にとっては大変よかったと思っています。

実際に、コロナなどが発生した時に、恐らく、患者対応ではなく、一般市民の方の対応で、各市の動きが若干異なっていたと思うので、合わせる必要はないと思いますが、ただ、圏域でなるべく同じスピードで同じような形で動けるように、市民への対応をどうしていくかなど情報共有をしていきたいと思ったのが感想です。

以上です。

【中坪部会長】 ありがとうございます。

この議事につきまして、ほかにコメントやご意見等はございますか。

よろしいでしょうか。

ありがとうございます。皆様方からいただいた意見やこのアンケート内容につきましては、今後の訓練に生かしていきたいと考えております。

それと関連するところで、次の議事に進めさせていただきます。

イの感染症対応実践型訓練の課題と今後の方向性について、事務局より説明をお願いいたします。

【吉井市町村連携課長】 それでは、資料2です。A3横の資料ということになります。

この資料はアンケート結果でいただいたご意見等抽出をいたしまして、ここから今後の課題と今後の方向性ということで整理をしたものとなります。

まず一番左のところが今回の訓練のポイントです。冒頭で申し上げたように、関係機関との円滑な情報連絡、各機関の状況判断・迅速な対応、感染症業務ということを検証のポイント、これは今回の訓練のポイントでもあったわけですが、こういった形で分類整理をしております。

この3つの検証のポイントごとに、関連する意見、特に複数いただいたご意見などを中心に抽出をしまして、そこから今後の課題を導き出しまして、それに対してどう対応していくかということで、一番右側にも今後の方向性ということで記載をしております。記号については、私どもの圏域、保健所で取り組むことが可能なものについて◎、健康危機管理対策協議会に諮り検討するものについて●、国や都の検討状況を踏まえて実施するもの、国や都が何らかの方針を出さないと動けないというようなものは□ということで表示をしております。

順に見ていきたいと思いますが、まず、一番上の枠です。保健所と各市との間での情報提供の前提条件を明確化する。特に、先ほどもありました患者の個人情報の取扱いについてルールを整備することが必要といったご意見がございました。これは主に市役所の方からのご意見ということです。これについては、事前に整理してルール化することが必要ということですが、一番右の今後の方向性にもございますように、今、都でその取扱いについてのルール化について検討中ということになっていますので、これを踏まえて対応するということになるかと思えます。

それから上から2番目の枠ですが、先ほどもご指摘いただいた、電話・FAX中心の業務が残っていて、国や都や保健所間で電子化、一元化されたシステムを構築する必要があるといったご意見がございました。これについては、迅速に情報共有できる体制の構築ということになりますが、患者発生に関するシステムということになりますと、これは、恐らく国が構築して全国展開していくことになるかと思えます。そういったものができたら、訓練等で活用したい、またそれがまだできなくても、何らかの形でパソコンやインターネットを使った報告などの訓練は実施していく必要があると思っております。

それから3つ目の枠、こちらはBCPの策定に関するご意見ということで、主に市役所の方からですが、それからその下、感染率・死亡率の高い新興感染症に備えたPPEの訓練、感染防御体制の強化などが必要という医師会班の方からのご意見もございます。BCPについては、病院等でも策定しているかと思えますが、基本的には各市の対応ということになりますが、会議などで策定を促すとともに、中身については、例えば初期対応の記載の部分などについては、ある程度レベル感を合わせていく必要があると思っております。

医療従事者が緊急に対応できるような準備については、PPEの着脱訓練、感染症対応に関する研修訓練など、私どもとしても支援できることは今後もしていきたいと考えております。

それから、上から4番目です。多様なケースを想定した対応訓練が必要ではないかといったご意見がございました。例えば独居の高齢者の対応や、自宅療養者への往診、あるいは施設クラスター、外国人の事例などを例に挙げております。全部一遍にというわけにはいきませんが、今後の訓練で順次取り上げていきたいと思っております。

最後のところ、コロナ対応の経験がない職員が増えているということで、過去の知見を継承するための教育、研修体制の整備といったご意見がございました。これは先ほども、実施状況報告のところでも触れたところです。これについては、今後、市と保健所間で日頃から実務レベルで意見交換できる場を設けるといったことで、コロナ対応のときの知見も踏まえた運用方法、継続的な仕組みを共有していきたいと思っております。

以上、訓練を通じていろんな課題が今回見えてまいりましたので、今後、これらの課題について、なるべく平常時から解決を図っていくということで、有事に少しでも混乱のないようにしていきたいと思っております。

以上、感染症対応実践型訓練における課題と今後の方向性ということで整理したものとご報告いたしました。

以上でございます。

**【中坪部会長】** ありがとうございます。

ここまでの議事、イ、感染症対応実践型訓練の課題と今後の方向性について、ご質問やご意見などがあればお願いいたします。

今、説明があったように、皆様方のご意見から今後の方向性を書かせていただきました。二重丸、黒丸、四角の中で、保健所だけでは検討が難しいところもありますが、二重丸などについては、今後、来年度以降の訓練にぜひ反映させて取り組んでいきたいと考えているところがございますので、よろしく願います。

もし、意見がなければ次に行かせていただきます。

では、次に次第3の(2)健康危機対処計画の改定(案)について、事務局より説明をお願いいたします。

**【吉井市町村連携課長】** それでは、健康危機対処計画の改定(案)ということで、資料3-1は健康危機対処計画本編の改定案で、資料3-2が横版になっていまして、新旧対照表の案ということになっております。

こういった計画は大体数年単位で見直しをかけていくことが通例ですが、多摩立川保健所の健康危機対処計画について、当保健所としては、必要に応じて見直しを行うということにしております。そのタイミングとしてこの感染症対応実践型訓練を行って、その評価、検証を踏まえて、必要なところを見直ししていくという形を取っております。今回は大幅な改定をするということではありませんが、改定したほうがよいと思われ

たところが2か所ございまして、そこについてのご説明となります。

一つは、資料3-1の12ページのところです。

3の業務体制の相談のところになりますが、時期としては発生早期のところになります。ここに保健所内の動きとして、発生した感染症に対する相談マニュアルなどを速やかに整備するとありますが、その後に、「このうち、住民対応に係るマニュアル等については、市町村等にも住民対応の参考となるように、適宜情報共有を行う。」という文言を追記しました。これは、先ほどもご意見がありました。各市において、なるべくばらばらではなく統一的な住民対応となるように、あくまで保健所の内部の対応マニュアルではありますが、参考までに対応の仕方、内容について、圏域の各市、あるいは必要な機関に情報提供するというような内容でございます。

それから、もう一つが15ページ上の方でございます。

これは、(4)の健康観察・生活支援のところ、流行初期になりますが赤字の部分が改正した箇所となります。もともとこの赤字のところに「必要な情報提供や情報共有等を行う」と書いてありましたが、これは保健所が管内市町村による自宅療養者の生活支援を実施する際の情報提供について記載したものです。この部分について少し厚めに記載を改めまして、「対象者、支援内容及び連絡先等を把握し、整理・更新を行うとともに、必要に応じて市町村等の関係機関に情報提供や情報共有を行う。」というような、少し踏み込んだ具体的な内容・記述にしております。

各市が自宅療養者の支援を行う場合、当然、その対象者についての情報や、支援内容について整理、把握をして、個人情報の関係でも対応することになるわけですが、これについては、個人情報の取扱いについての全体のルールにのっとる形にはなりますが、必要に応じて市や関係機関に情報提供するというので、少し具体的な内容で文言を追記したということでございます。

今回は、それほど大がかりな改定ということではありませんが、訓練を踏まえて、情報提供をしっかりとっていくというところで若干、加筆する形で改定させていただければと思っております。

説明は以上です。

**【中坪部会長】** ありがとうございます。

2か所だけ、修正させていただいたということです。この健康危機対処計画は、簡単に言えば、東京都全体の予防計画の保健所ごとのマニュアルのような位置づけですので、皆様方が直接これに基づいて何かするというわけではありませんが、市町村、病院、診療所にも関係があるので、毎年実施する訓練に基づいて随時見直すという形で、今日この会に諮らせていただいたところでございます。

何か、この件について、ご質問やご意見などございますか。

もし何かありましたら、最後にまたお願いいたします。

では、次に進めさせていただきます。

次第3の(3)令和8年度感染症対応実践型訓練について、事務局より説明をお願いいたします。

【吉井市町村連携課長】 それでは、ご説明いたします。

資料4になります。資料3-2の冊子の後にA4縦の1枚の資料4があるかと思いません。

令和8年度の感染症対応実践型訓練について、現時点で、あくまでもこの令和7年度の訓練を踏まえてどういう方向で実施していくかということで、おおよその方向性をまとめたものとなっております。

まず、この訓練の目的については令和7年度と特に変わっておらず、感染症危機の発生時の対応の実践ということですが、これは単に机上の計画だけではなくて、実際に感染症発生時を想定して行動するという、これ自体が訓練の目的の一つということと、訓練内容を検証し、対応力の向上につなげる、訓練をやりっ放しで終わらせるということではなくて、しっかり検証を行って今後に備え、対応力を高めていくということになります。

次の訓練の実施時期ですが、11月を目途にと考えております。10月から12月までとあるのは、10月下旬や12月上旬にずれ込む可能性もないわけではないので、若干幅を持たせたということでございます。

訓練の概要としまして、まずは想定フェーズですけれども、これも今年度同様、新興感染症が発生して都内で感染が拡大しつつある流行初期がよいのではないかと考えております。今年度の参加者のご意見の中にそういった意見もございましたし、各関係機関のやるべきことが、この時期は一気に広がっていきますので、色々な切り口での訓練が可能ということもありまして、流行初期が適切なのではないかと考えております。

ただ、今年度の訓練では新興感染症発生から2か月が経過して、管内で1日80人という新規感染者が発生しているという状況でしたので、訓練の内容にもよりますが、もう少し手前のタイミングでもいいのではないかと考えております。

それから、訓練の実施方法について、これも今年度と同じように課題検討とロールプレイング形式の情報連絡訓練の2部構成でいいのではないかと考えております。ただ、7年度の訓練と異なる視点でテーマを取り上げて課題検討を行うということは当然ですが、先ほどもご指摘をいただいたように、電話以外の伝達手段も取り入れた形で、情報連絡訓練については実施したいと考えております。内容については、これから所内の感染症ワーキングなどでも検討して、改めてこの部会でもご提案させていただきたいと思っております。

それからこの資料4の裏面に、シナリオ案のイメージ、幾つかの訓練事例をお示ししております。例えば例1でICT活用型の情報連絡型の訓練。これは、その下の訓練参加者の方からいただいたご意見を踏まえたものです。

それから例2としては、クラスター対応の多職種・多機関の連携した訓練。これは複雑で難易度も上がると思いますが、このような訓練も、いずれは必要ではないかと思っております。

次に、例3、これは市役所、保健所などの体制整備というところに関わりますが、BCPの実効性を確認するような訓練ということで、一つの例として考えております。

あとは、最後の例4ですが、若手の職員、コロナ対応未経験者を主な対象とした訓練を挙げております。これは一番下にありますように、訓練そのものを対象としなくても、役所関係の若手や新人の方に積極的に見学に来てもらうということでもいいのではないかと考えております。

現時点で、事務局としてはこういった方向で今考えているところでございます。来年度の感染症訓練の案ということでご説明させていただきました。

以上でございます。

**【中坪部会長】** ありがとうございます。

ここまでの議事、(3)令和8年度感染症対応実践型訓練について(案)のご質問やご意見などがあればお願いいたします。

裏面に具体的なシナリオ案、例1から例4という形でお示ししましたが、コメントでも構いませんので、どなたかご意見があればお願いいたします。

立川病院の竹内委員、コメントはございますでしょうか。

**【竹内委員】** 立川病院の竹内です。

2年間、参加させていただいております。

同じフェーズであってもシチュエーションが変わればその対応というのは異なってくると思っております。病院班の中でも加算1以外のところも関わってくると思っています。2回連続で出ているから感じてしまうのかもしれないのですが、いつも大体同じような面々で実施しているというようなところがあります。恐らく加算1の医療機関は、こういうことはもう役割として、ある程度受け入れている状況で毎日を過ごしていると思っておりますが、そうではない後方支援のところは、分からない感染症が発生すると、怖いので後方であっても受け入れができないというようなこともありますので、参加できなくても、見学でもいいので広い範囲で参加ができるような形も取ればいいのではないかと思いました。

以上です。

**【中坪部会長】** ご意見、ありがとうございます。

立川相互病院の榎野委員、何かあったらお願いいたします。

**【榎野委員】** 山本さんと竹内さんに言っていたとおりで聞いておりました。

訓練のときにシナリオを保健所で密に考えてくださっていて、それに沿ってスムーズに進んだというのがあってよかったと思っています。ただ、私がシナリオを教えてい

ただいたところがあったのですが、それがなくて少し混乱したところがあり、それに急遽対応するというのも、面白さがあると思えました。ありがとうございます。

以上です。

**【中坪部会長】** ありがとうございます。

災害医療センターの塩野委員、お願いいたします。

**【塩野委員】** 災害医療センターの塩野でございます。

私は今回、初めてこちらの訓練に参加させていただきまして、また今年度から当院の感染の専従になりました。コロナ当初は現場にいた側、重症の患者さんを診ていた側でしたが、行政や医療機関、市町村の中で、コアなメンバーが、共通してあるべき姿をイメージできるようにするためには、やはりこのような訓練は必須ではないかと思っております。

一方で、先ほど竹内さんもおっしゃったように、後方支援の病院の方たちも、このイメージを一部でも共有できないと、一部のコアな人たちにぐっと重荷がかかりまして、特に当時もそうだったのですが、軽症だろうが重症だろうが加算1を中心に患者さんが集中してしまうですとか、もう少しクリニックや小規模の病院のご協力がいただければ、もっと円滑になり、診療体制もそこまで逼迫しなかったのではないかというような状況も経験として持っておりますので、そのようなところの拡大した情報共有の訓練も進めていければ、今後いいのではないかと思っております。

以上です。

**【中坪部会長】** ありがとうございます。

国立市の矢吹主査、市の立場で、ご要望でも何でも結構ですので、お願いいたします。

**【矢吹主査】** 今日は加藤課長の代理で出席させていただきました。ありがとうございます。

このような訓練をしているということを目の当たりにし、今後も生かして、ぜひ市町村の隅々の保健師もこのような取組を理解していかないといけないということを感じさせていただいております。

現場の保健師としては、今年、インフルエンザの感染症が早かったということがあり、それを市民にどのタイミングで伝えるか非常に悩みました。他市町村の様子を見ながら、あまり早く伝えても市民がパニックになってしまうのではないかと思いながら、課長と相談してホームページのトップに上げたりなどしているので、日々の中でそういったことも圏域6市で足並みをそろえたり、保健所から今、上げたほうがいいのではないかなどと言っていたりするといいのではないかと思えました。今年は悩んで対応させていただいた中、課長も忙しく、職員も少ないので日々頑張っているところでございますので、今後とも、どうぞご協力よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

**【中坪部会長】** ありがとうございます。

ほかに、ご意見等はございますでしょうか。

また具体的なシナリオ案はこの後、事務局のほうで詰めて、また来年度の第1回の部会でお示ししたいと考えておりますので、その際には、改めてご意見等、よろしくお願いいたします。

では、次の議事に進めさせていただきます。

次第3の(4)健康危機管理(感染症)訓練等部会等の予定について、事務局より説明をお願いいたします。

**【吉井市町村連携課長】** それでは、資料5、A4横の資料になります。

令和8年度の健康危機管理対策スケジュールの案ということになります。

この表ですが3段構成になっておりまして、上から順に緑色の部分が健康危機管理対策協議会、あるいは部会のスケジュールということになっております。

それから、その下の赤い部分が訓練のスケジュールということになっております。

それから研修です。市町村研修のスケジュールも併せて青い枠で入れております。

一番下のところが、健康危機対処計画に関するスケジュールということになっております。

これらは相互に影響しながら進んでいきますので、矢印等で関係を示しています。

全体のスケジュールとしては、令和7年度とほぼ同様の流れとなる予定でございます。来年度は、まず4月当初から来年度の感染症対応実践型訓練のシナリオ案の検討に着手いたします。6月を目途に、この部会の親会である健康危機管理対策協議会を開催しまして、その後また、実践型訓練の案を作成して9月頃、この健康危機管理感染症訓練部会を開催し、訓練のシナリオ案をご提示するということになっております。ここでまた、ご意見等をいただきまして、訓練の実施は11月頃予定しております。訓練を実施した後は、今回同様、実績を取りまとめて2月また今頃の時期に訓練部会を開催して評価、検証を行いたいという流れで考えております。

また、下の部分ですが、必要に応じて、健康危機対処計画の一部見直しを行いまして、改定内容についてまたお諮りするということになると思います。その上で健康危機対処計画の改定を行っていくということになります。

また、この中段から下の部分、青い枠ですが、市町村支援研修等(感染症関連)が2回ございます。まだ内容、時期ともに未定ではございますが、こちらも同時並行で実施していく予定でございます。

また、来年度もこうした流れで進めていきたいと思っております。

スケジュールに関する説明は以上です。

**【中坪部会長】** ありがとうございます。

ここまでの議事(4)健康危機管理(感染症)訓練等部会等の予定について、ご質問やご意見などがあればお願いいたします。

基本的には今年度と同じようなスケジュールで実施していきたいと考えておりますの

で、よろしくお願ひいたします。

では、次に進めたいと思います。

これで議事は全て終わったところですが、最後に委員の皆様方から、本日の会全体を通してのご意見、ご質問や、その他情報提供などがございましたら、ご発言お願ひいたします。

よろしいでしょうか。

少し時間より早いですけれども、本日の議事を終了させていただきます。委員の皆様方には議事の進行にご協力いただきありがとうございます。

では、事務局にマイクを返します。

**【吉井市町村連携課長】** 本日は、いろいろ貴重なご意見をいただきありがとうございます。

ご意見をいただいた中で、一部のコアの方しか参加できないといったご意見もございました。前回の訓練もそうですが、市役所と外来診療と医師会と病院とが、それぞれが関わって、かつ参加できるようなシナリオというのは難しく、できるだけまた考えていきますが、幅広く利用していただくために、今回は動画を作成しました。これも実際は現場で見ていただくのが一番いいですが、そうでない方にとっても、こういうものを見ていただくことで、多少参考になるのではないかと考えております。

それから、訓練であえて混乱させる、シナリオどおりに進めないという実施方法もあり、今回は実はアドリブをかなり入れて、想定外の事態が起こったときの対応も見込んで実施してみました。ただ、あまりにも脱線し過ぎると今度は收拾がつかなくなり、訓練自体が成り立たないということになりかねないので、ファシリテーターの皆さんにも色々軌道修正していただいて、アドリブの中でもあまり大きくシナリオからそれていくことのないように配慮したところであります。やるべきことはある程度予定しているので、それが完全に崩壊することのないようにすることが非常に難しいところであると考えております。いただいたご意見を参考にさせていただいて、次の訓練を考えていきたいと思ひます。

また、今日の部会で言うことが出来なかった意見等は、ご意見シートをお配りしておりますので、ご記入いただいて来週 18 日水曜日までにメール等でお送りいただけたらと思ひます。

それでは、これを持ちまして、令和7年度第2回北多摩西部健康危機管理対策協議会の健康危機管理（感染症）訓練等部会を閉会させていただきます。

今日はお忙しい中、ご出席いただき、色々なご意見をいただき誠にありがとうございました。

午後2時41分 閉会